

## 令和8年度第1回区政会議でいただいたご意見と区役所の考え方等（令和8年6月9日開催分）

事前にいただいたご意見

## 【令和7年度福島区運営方針振り返り】

	委員名	ご意見内容	回答内容	担当課
1	中野委員	<p><b>公立の幼稚園・保育所に対する知的玩具等の整備について</b></p> <p>公立の幼稚園・保育所に対する知的玩具等の整備に7予算額に4,437千円が計上されていますが、その知的玩具とはどのようなものでしょうか？</p>	各施設に希望を聞き、絵本やブロック、ままごとセット、平均台、マットなど、こどもたちの知識の吸収や創造力の育成を促進する知育玩具や遊具等を購入しました。	保健福祉課 (子育て教育)
2	中野委員	<p><b>不登校児童生徒支援事業について</b></p> <p>不登校児童生徒支援事業（ボランティアの配置）の7予算額4,972千円の内容は何でしょうか？</p>	予算額4,972千円のうち4,913千円は、登校支援や校内の別室での見守りなどのボランティア活動に対する報酬と交通費です。（対象：小学校9校・中学校3校、報酬：1時間1,300円、交通費：1日580円（上限）） 残りは、活動中の事故に対応するための保険料です。	保健福祉課 (子育て教育)
3	高原委員	<p><b>小中学校の児童生徒の増加に対する対応について</b></p> <p>経営課題3のところ、鷲洲小学校は児童数が増加しており、教室不足や児童一人あたりの運動場面積の狭さなど、課題がたくさんあります。 安全で安心な環境だったのか、体力向上できるのか。 令和8年度から学校選択制の受入を抑制しますが、児童数は今後も増加予定との事で不安を感じます。 数年後の八阪中学校も心配です。</p>	<p>ご指摘の課題については学校からも聞いており、今年度の新入生から学校選択制における受入抑制を実施したところです。今後の児童数の伸びは鈍化傾向にありますが、推移を注視しながら、引き続き学校や教育委員会と状況・認識を共有し、対応してまいります。</p> <p>八阪中学校につきましては、生徒数が増加傾向にあることに加え、令和8年度からの35人学級実施により、将来教室不足が見込まれることから、教育委員会において校舎の増築工事が計画されています。</p>	保健福祉課 (子育て教育)

令和8年度第1回区政会議でいただいたご意見と区役所の考え方等（令和8年6月9日開催分）

事前にいただいたご意見

【その他】

番号	委員名	ご意見内容	回答内容	担当課
1	中野委員	<b>福島区将来ビジョンについて</b>	<p>福島区将来ビジョンは区のめざすべき将来像、その将来像の実現に向けた施策展開の方向性を明らかにするものです。今回は令和8年度から令和10年度までの3年間を計画期間として、昨年度区政会議においてご議論いただき、令和8年3月に策定しました。</p> <p>今後は、福島区運営方針において、将来ビジョンの実現に向け年度毎に具体的に取組を明示させていただき、取り組んで行くこととなります。</p>	企画総務課 (企画推進)
		<p>福島区将来ビジョンはもう議題にはしないのでしょうか？</p> <p>令和8年3月に策定されたからでしょうか？</p>		
2	中野委員	<b>海老江西幼稚園について</b>	<p>今後、大規模マンションが建設されるなどし、子育て世帯が増加する可能性もあるため、再開が可能なように廃園ではなく休園としました。</p> <p>園舎については、建物を所管していることも青少年局が園長の意向を確認しながら活用方法について検討しているところと聞いております。</p>	保健福祉課 (子育て教育)
		<p>海老江西幼稚園が来年3月末で休園になります。以前にもご説明あったと思いますが今一度教えてください。</p> <p>なぜ閉園ではなくて休園でしたか？また再開園はあるのでしょうか？</p> <p>園舎はどうなるのでしょうか？</p>		
3	中野委員	<b>西野田工科高等学校の跡地利用について</b>	<p>大阪府の動きに進展はございません。今後も引き続き、大阪府からの情報収集に努めてまいります。</p> <p>跡地活用へのご意見・ご要望については、大開地域などからお聞きしており、取りまとめのうえ大阪府へお伝えしてまいります。</p>	企画総務課 (総務)
		<p>西野田工科高等学校の跡地の今後の活用について何か進展はございますでしょうか？</p>		
4	横田委員	<b>在宅避難の普及啓発について</b>	<p>大きな災害が発生したとき、居宅が無事な場合に、そのまま自宅で避難生活を送ることができれば生活環境を変えずに済み、プライバシーが保たれるメリットは大きいと思われます。よって、当区においては在宅避難を普及啓発していきたいと考えています。</p> <p>発災後の3～7日間を乗り切るための日ごろの備えとして、水や食料品のローリングストックといった備蓄が推奨されますし、家具の固定化のほか停電・上下水道の不通などへの対応策として、携帯ラジオ、懐中電灯のほか簡易トイレなどの事前準備が必要であることなど、ホームページや区広報誌を通じて情報発信してまいります。</p> <p>また、福島区の世帯の約8割がマンション居住であることから、在宅避難の選択をする方が多いことが想定されます。在宅避難しながら食料品や物資の配給を受けることも可能であり、各地域に開設された避難所へ「避難者名簿」を提出するなどの留意事項についても、マンション防災講演会や出前講座などの機会を捉え、周知してまいります。</p>	市民協働課 (市民協働)
		<p>経営課題2「安全安心なまちづくり」の取組概要「在宅避難の有効性を普及啓発する」ということから、在宅避難訓練を行う必要があると思うのですが、どのようにして在宅避難を普及啓発するのか教えてください。</p>		

令和8年度第1回区政会議でいただいたご意見と区役所の考え方等（令和8年6月9日開催分）

事前にいただいたご意見

【地域保健福祉ビジョンの進捗状況】

番号	委員名	ご意見内容	回答内容	担当課
1	中野委員	<p>福島お助けネットワークについて</p> <p>64歳以下に拡充されていて、令和7年度の利用は0件とのことですが、今後どのように周知されますでしょうか？</p> <p>今後どのように周知されますでしょうか？</p> <p>サポーター登録者数も減少していますが、こちらもどのように継続して募集されますでしょうか？</p>	<p>福島お助けネットワークについては、福島区在住の方の日常生活のちょっとした困りごとを有償ボランティアサポーターが対応し、住民が互いに支え合う取組です。</p> <p>利用していただける方は、65歳以上の高齢者、障がい者に加えて、令和7年度から64歳以下の方で生活課題（けがや病気等）があり周囲に支援する人がいない方についても拡充いたしました。</p> <p>いただきましたご意見を踏まえ、令和8年度には福島区役所のホームページの他、事業の委託先である福島区社会福祉協議会において、ホームページ、チラシなどにより拡充した対象者の目に留まるように配布先を工夫し、わかりやすい周知に取り組んでまいります。</p> <p>サポーターについては令和7年度に登録者名簿を精査したところ高齢により活動が困難になった方などがいたため減少いたしました。令和8年度についても登録者名簿の更新を行うとともに、利用周知と同様にサポーター募集の周知に取り組んでまいります。</p>	保健福祉課 (地域福祉)